

いつ植えるの？今でしょう!!
畝づくりのメリットとは？
見える授業と実験

6年生「植物のからだのはたらき」6月上旬ごろ学習で・す・が…

6年生の理科で栽培する植物は、ホウセンカとジャガイモです。6月の初めには、成長した葉や茎の部分が必要になります。新学期スタート時には、もう6月の学習のことを見通して、ホウセンカとジャガイモを児童に植えさせます。子どもたちには、昼休みに数人、学年花壇へ来てもらって植えてもらいました。「あ、植えてなかった…。」「枯れてしまった…。」とならないように、慎重に栽培します。生き物が相手ですから。4月に植えたジャガイモとホウセンカは現在ここまで発芽し、葉を伸ばしました。



ジャガイモ



ヘチマ



ホウセンカ



2年生「生活科」野菜を育てよう。



ナメクジやダンゴムシは害虫である。茎がポキッとやられています。これは、ナメクジやダンゴムシがかじった跡です。また、芽が出ているようで、根っこから切られてしまっている場合もあります。「根切り虫」って厄介者がいます。植えたヘチマも何本かやられていました。

「野菜を植えたのですが」と、2年生の担任の先生に相談をいただき、畝づくりをしました。真っ直ぐに盛れるように、端と端に支柱を指してテープで直線を引きます。そこへ、鍬で周りの柔らかい土を寄せて山にしていけます。なぜ畝をつくとよいか知っていますか？その答えは…

- ①水はけと通気性が向上…土を高く盛ることで、水はけUP、空気の入出力UPで根が健全に生長!!
- ②根が張るスペースを確保…作土層が厚く、十分に根を張り、育ちがUP!!
- ③地温が上がる…日光がよく当たり、土が温まります。土壤微生物の活性UP!!夏野菜の初期成育UP!!

実験器具の整備作業をしました。6年生「物が燃え続けるには～集気びんを洗おう～」



Before



After

良い授業とは、分かりやすい授業。分かりやすい授業とは、よく見える授業。よく見える実験をするには、備品管理も徹底していきたいと思います。